

鳥栖市教育委員会 議事要旨

1 会 議 名

教育委員会 11 月定例会

2 開 催 日 時

令和 2 年 11 月 11 日（水）9 時 00 分開会 10 時 13 分閉会

3 開 催 場 所

鳥栖市役所 3 階第 1 委員会室

4 会 議 の 公 開

一部非公開

5 出 席 委 員

天野教育長、古澤委員、吉原委員、戸田委員、副田委員

6 出席事務局職員

白水教育部長、青木次長兼教育総務課長、中島学校教育課長、犬丸学校給食課長兼学校給食センター所長、松隈生涯学習課長兼図書館長、古賀学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事、日吉学校教育課参事兼指導主事、竹下生涯学習課参事、立石教育総務課長補佐兼総務係長、八尋生涯学習課長補佐兼生涯学習推進係長、辻教育総務課教育支援係長、長野学校教育課インクルーシブ教育推進係長、石丸学校給食課学校給食センター係長、久山生涯学習課文化財係長、原口生涯学習課主査

7 傍 聴

1 人

8 経 過 報 告

10 月定例会以降の経過報告

9 議 事 録 承 認

10 月定例会の議事録承認

【承認】

10 議事及び審議結果

臨時代理報告第 6 号 事務局職員の人事について 【承認】

臨時代理報告第 7 号 鳥栖市教育委員会事務局組織規則等の一部改正について

【承認】

臨時代理報告第 8 号 鳥栖市教育委員会事務局事務専決規程及び鳥栖市

教育委員会公印規程の一部改正について

【承認】

議案第 23 号 議会の議決を経るべき議案の原案について

【承認】

（令和 2 年度鳥栖市一般会計 教育委員会所管補正予算）

議案第 24 号 鳥栖市育英資金奨学生の選考について

【承認】

11 協議報告事項

(1) コミュニティ・スクールに係る意識調査結果について

(2) 鳥栖市青少年育成市民会議研究大会について

12 今後の予定等

教育委員会関連の主な行事について報告

13 次回会議予定

教育委員会 12 月定例会

令和 2 年 12 月 9 日（水）8 時 30 分から

○天野教育長

それでは皆さん、おはようございます。本当に朝夕がめっきり冷えまして、紅葉の便りも届きまして秋の深まりを感じております。全国的に第3波が来ている流れでコロナの感染が増えているような状況で、学校も非常に緊張感を持って取り組むということで、実は昨日臨時の校長会を開きまして、それぞれの確認を一つずつ丁寧に行ったというような状況でございました。

こうした中、運動会とか体育祭、修学旅行、文化祭など無事に終わっているような状況でございまして、来週宿泊訓練を弥生が丘小学校と鳥栖北小学校で予定しております。それが終われば、ほぼこういった大きな学校行事も終わるということになっています。学校の方も子供たちが来るのがあと30日ぐらいになると思いますけど、いい季節の中で2学期のまとめの時期ということになりますので、しっかり頑張ってもらいたいというふうに思っています。お手元に基里小中学校研究発表のをピンクの袋に入れてございまして、基里小中学校は小中一貫研究を鳥栖市内のパイロット校でスタートして今年で11年目ということで、研究発表は今年で3回目ということになりますけど、時間がある範囲でよかったですら参加いただけたらというふうに思っています。

後で報告がありますが、11月の機構改革に伴いまして人事異動があったということで、教育委員会の方も4課8係ということで、白水次長が次長から部長ということになっていただいて、中学校の完全給食であるとか、GIGAスクール構想であるとかさまざまな課題が山積しておりますけど、それに対応する体制が整ってきたなというふうに思っています。また、来週18日は武雄の方に視察研修ということで、ICT環境整備ということも含めて見ていただくということでよろしくお願ひしたいと思ひます。以上です。はい、白水部長。

○白水教育部長

議事に先立ちまして、先ほど教育長の方から御紹介がございましたように、11月1日で組織機構改革に伴います人事異動がございまして、私ども教育委員会内教育部ということで設置をされました。本日はこちらに係長以上の者が参集しておりますので、異動があったもの、なかったものもおりますが、改めまして御挨拶させていただきますので、少し時間を拝借いたします。よろしくお願ひします。

改めまして教育部長を拝命いたしました白水でございまして、よろしくお願ひいたします。それぞれ順次挨拶をさせますので、よろしくお願ひいたします。

○青木次長兼教育総務課長

教育部次長兼教育総務課長を拝命いたしました青木です。また今後もよろしくお願ひいたします。

○立石教育総務課長補佐兼総務係長

この度教育総務課長補佐兼総務係長を拝命いたしました立石です。よろしくお願ひします。

○辻教育総務課教育支援係長

おはようございます。教育総務課教育支援係長を拝命いたしました辻と言ひます。よろしくお願ひします。

○中島学校教育課長

おはようございます。引き続き学校教育課長を務めさせていただきます中島です。どうぞよろしくお願ひいたします。

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事

おはようございます。学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事を拝

命いたしました古賀です。今後ともよろしく願いいたします。

○日吉学校教育課参事兼指導主事

おはようございます。学校教育課参事兼指導主事を拝命いたしました日吉でございます。よろしく願いいたします。

○長野学校教育課インクルーシブ教育推進係長

おはようございます。学校教育課インクルーシブ教育推進係長を拝命いたしました長野と申します。よろしく願いいたします。

○犬丸学校給食課長兼学校給食センター所長

おはようございます。学校給食課長兼学校給食センター所長を拝命いたしました犬丸と申します。よろしく願いいたします。

○石丸学校給食課学校給食センター係長

おはようございます。学校給食課学校給食センター係長を拝命しました石丸と申します。よろしく願いいたします。

○松隈生涯学習課長兼図書館長

おはようございます。うちの課は変わっておりません。生涯学習課長兼図書館長の松隈です。今後ともまたよろしく願いいたします。

○竹下生涯学習課参事

生涯学習課参事の竹下です。よろしく願いいたします。

○八尋生涯学習課長補佐兼生涯学習推進係長

おはようございます。生涯学習課長補佐兼生涯学習推進係長の八尋です。よろしく願いいたします。

○久山生涯学習課文化財係長

おはようございます。引き続き生涯学習課文化財係長を務めさせていただきます久山と申します。よろしく願いいたします。

○白水教育部長

図書係長は現在病休中でございますので、代理が出席しております。よろしく願いいたします。

○天野教育長

はい、ありがとうございます。新しいスタッフで人員も3名増えて充実してまいりまして、頑張っていきたいというふうに思っています。

それでは次に経過報告をお願いします。はい、青木次長。

○青木次長兼教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございます。それでは経過報告について何か御質問等ありましたらお願いいたします。いいでしょうか。はい、それでは次にいきます。

2 議事録承認。議事録承認につきましては別冊でまとめていただいております。また何かありましたら事務局の方にお問い合わせいたします。では次に行きます。

3 議案。臨時代理報告第6号事務局職員の人事についてお願いいたします。

○青木次長兼教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございます。それでは今回の人事異動の概要についてということで説明いただきましたけれども、何か質問とか御意見、希望とかも含めてありましたらお願いいたします。いいでしょうか。はい、では御承認いただくというこ

とでよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。

それでは次に、臨時代理報告第7号鳥栖市教育委員会事務局組織規則等の一部改正についてお願いいたします。はい、青木次長。

○青木次長兼教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございました。それでは規則に関する改正の概要の説明を受けましたけれども、この規則の見直しについて、何か御質問・御意見等ありましたらお願いいたします。はい、副田委員。

○副田教育委員

学校教育課のインクルーシブ教育推進係というものが新たに発足しますが、このインクルーシブ教育推進係についてももう少し、具体的にどのようなことをするのか教えていただきたいと思います。

○天野教育長

はい、中島課長。

○中島学校教育課長

今回新たに創設されましたインクルーシブ教育推進係につきましては、昨年、「障害のあるなしにかかわらず、全ての子どもが安心して共に学び、共に成長するための保育及び教育の環境整備を推進する条例」が制定されました。これに基づきまして、障害のあるなしにかかわらず、全ての子どもが地域の学校で学び、共に成長できるよう、年齢や能力に応じた、また、且つその特性を十分に踏まえた教育ができるよう、それを可能にしていくためのシステムづくり、そういったものを中心としながら、市長部局のこども育成課等の関係機関との連携をさらに深めていくシステムをきちんと構築していくということで今後進めたいと考えております。以上です。

○天野教育長

はい、副田委員。

○副田教育委員

はい。これからですから、暗中模索を重ねながら、ハード面・ソフト面で具体的なものが構築されていくスタート地点に立ったということですね。素晴らしい取り組みだと思うので、頑張ってください。ありがとうございました。

○天野教育長

しっかりエールをいただきましたので、よろしく申し上げます。はい、古澤委員。

○古澤教育委員

はい。関連でお尋ねします。このインクルーシブ教育には、これまでの定例会でも御報告いただいたとは思いますが、外国籍の子供さんとか帰国子女といいましょうか、そういう子供さん方も対象になるのでしょうか。なるとすれば、市内に現在どの程度、例えば小学生、中学生どれだけというふうに把握してあれば教えてください。

○天野教育長

はい、古賀参事。

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事

はい。外国籍のお子様方につきましては、その数を教育委員会でも把握しているところでございます。外国籍のお子様方につきましては、学校に就学する、就学しない、それぞれ選択をすることができておりますので、その就学している数、就学

していない数も教育委員会の方で把握しているところがございます。その数につきましては、後ほど表としてお示ししたいというふうに考えているところがございます。また、外国籍の就学しているお子様方につきましては、県から日本語教育に係る補助的な職員を派遣していただくことができますので、その職員による対応もしているところがございます。以上です。

○天野教育長

古澤委員。

○古澤教育委員

例えば、結構社会問題になってるかなと思うんですけど、こういう子供さん方で日本で生まれてある方と、一定期間経って就学年ぐらいから日本に来られたということになってくると、言葉の問題に差があるかなと思います。こちらで生まれた方であれば滑らかに日本語をしゃべられるんですけど、途中で来られたら日本語習得は第2外国語になるでしょうから、なかなか難しい部分があるのかなと思ってます。そういったことで、例えば今度小学校に入るんだけどということで、戸惑いとかお困り感で問い合わせとか御相談等が現場であったりしているかどうかを教えてください。

○天野教育長

はい、古賀参事。

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事

こちらの方に就学する際には、まず保護者、それから本人と面談を行うようにしております。日本の制度としまして、小中学校の年齢であれば、一つ下の学年に就学することが可能となっております。そのため、一つ下の学年で入学して、そこに県から補助としてついてくださる先生方の指導のもと、少しずつ日本語に慣れていくような手段をとらせていただいております。特に多いのは、全く日本語がしゃべれないというお子様方につきましては、一つ下の学年を希望する保護者さんたちが多いようでございます。もちろん、全ての授業において日本語教育ができるわけではございませんが、できるだけ可能な限りこちらも手配をしながら進めているところでございます。以上です。

○天野教育長

はい。鳥栖は非常に外国籍の方が多くて、そういったことで今までもずっといろんな面で関係機関と共にやってきたんですけども、やっぱり今後はまたこれも含めてしっかり支援の体制を組まなくてはいけないときが来ているのかなというふうに思っています。それについてはまた学校教育課とともにやっていかななくてはというふうに思ってます。他に。はい、吉原委員。

○吉原教育委員

今回学校給食課が新設されまして、学校給食センター係ということで動かれます。来年度の夏でしたかね、中学校の完全給食に向かって動かれていると思います。本年度、この完全給食に向かってどのような動きをされて来年度に向けての体制づくりをされるのか、お考えをちょっと聞きたいと思います。

○天野教育長

はい、犬丸課長。

○犬丸学校給食課長兼学校給食センター所長

はい。中学校の完全給食につきましては、今委員さんからお話がありましたとおり来年度の2学期、8月の末から提供していくことに向けて、今後いろんな準備をしていくということになります。当然、学校の方とも話をしながら、それから保

護者の方、PTA も含めて連携を図りながら、スムーズに中学校の給食が実施できるように進めていきたいというふうに考えているところでございます。また委員の皆さま方から御意見等いただきながら、検討を進めてまいりたいと考えているところでございます。以上です。

○天野教育長

吉原委員いいですかね。これから来年8月の2学期のスタートに向けてということで、これは非常にタイトな日程の中でありますので、各中学校の現場サイドも、それから校長先生方も非常に気にしておられて、今から時間の問題やさまざまな問題が出てくると思います。犬丸新課長のもとでそこは一つずつしっかりやっぴいかなきゃならないというふうに思っていますので、御理解のほどお願いしたいというふうに思っています。私もそこは非常に心配ですけど、新たに学校給食課もできましたし、体制も組めたので、そういった意味で頑張っていくしかないなというふうに思っています。以上でございますがいいでしょうか。それでは組織規則等の一部改正についてということで、御承認いただくということでよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。

次に、臨時代理報告第8号鳥栖市教育委員会事務局事務専決規程及び鳥栖市教育委員会公印規程の一部改正についてお願いします。はい、青木次長。

○青木次長兼教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい。ということで、これだけ公印もたくさんあるということで、その中に一つ入って全て番号が変わるということで、規則改正をするということになりますが、委員の皆様何か御質問・御意見等ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。はい、古澤委員。

○古澤教育委員

こういうことを言ったら顰蹙を買うかもしれませんが、今公印の廃止の問題等が出てきている流れの中で、私どもはそんな抵抗感はないんですけど、議会で御報告なさるときにはひょっとしたらこういうことも質問がくるかもしれないということは想定されていた方がいいのかなと思います。これは、各職責を代表するどうしても必要だっという部分について押すものですから、どこの分でも、特に市長の公印とか押す場合には、必ずその担当課の方に決裁文書を見せて、きちんと決裁とってますよということで押すと思います。ただ、本当に押す必要があるかどうかとか、今後はそこまで見なきゃいけないような流れになってきてますので、そこら辺も頭の隅っこに置いていただいたらと思います。以上です。

○天野教育長

はい、ありがとうございます。しっかり先の見通しを持ちながらその辺は考えていかなくちゃいけないというふうに思っております。それでは御承認いただくということでいいでしょうか。はい、ありがとうございます。では次に行きます。

議案第23号議会の議決を経るべき議案の原案についてお願いします。はい。青木次長。

○青木次長兼教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございます。それでは、今度の12月補正分の議案ということになりますけれども、何か御質問・御意見等ありましたらお願いいたします。はい、

青木次長。

○青木次長兼教育総務課長

項2の小学校費と項3の中学校費の電子黒板の移設と、特別支援学級の学級増に伴う教室用備品購入費は、現在の見込みで来年度のクラス編成による学級増が見込まれますので、その分について前もって今年度中に準備をするということで予算を組ませていただいております。

○天野教育長

ということで、委員の皆さん何か御質問とかありませんか。体温測定のリモートカメラを購入ということですので、これについて少し付け加えをしていただいたらというふうに思います。はい、白水部長。

○白水教育部長

はい。リモートカメラの購入費につきましては、各学校に2種類ずつ設置をいたします。まず一つ目は、生徒さん用です。昇降口に設置をいたしまして、カメラで読み込みました人影について、体温を自動的に測定して記録するといったようなものでございます。記録につきましては記録媒体を準備いたしますので、媒体の容量によりまして上書きをされていくといったようなシステムでございます。

また、もう1台はタブレット型を準備いたします。これにつきましては、来客用及び先生方の来校時に事務室前に設置をさせていただきまして、御自分で体温を測定していただいて入室いただくというようなものでございます。もう一つはタブレットにカメラがついたような大きさになっております。これにつきましてもメモリがついておりますので、メモリの容量次第で上書きをされていくようなカメラを購入予定でございます。また、人数の多い学校、それから昇降口が分離してまとめにくい学校につきましては、複数台準備をするといったようなことで進めさせていただいて、予算を計上させていただいている次第でございます。教育長から冒頭御紹介がございましたように、新型コロナウイルスの終息が全く見えない状況でございますので、早目に検知して早目に対応いただくといったようなことで、今回予算を計上させていただいております。この部分が追加になっている分でございます。以上です。

○天野教育長

はい、ありがとうございました。はい、古澤委員。

○古澤教育委員

はい。今の分については定例会で御説明いただいたかなと思っておりますけど、そのときにも人は配置しないように伺ったように思います。例えば、今問題になっているのは37度何分ということでやってるので、そこに子供さんが立って、基準とされる温度よりも高かった場合、そのときには自主的に入らないような周知徹底も含めてなさるわけですね。先日、洋服の小売店に行ったときに、入り口にそういうカメラが設置してあって、みんなカメラの前に立ったら体温がいくらって出て大概36度台なので普通に入っていくんですけど、そこら辺は、例えば小学校1年生とか低学年の子供さんたちは戸惑いがあるのかなというふうに思いますので、そこら辺の辺の辺のところをどう考えてあるか教えてください。

○天野教育長

はい、中島課長。

○中島学校教育課長

今委員御指摘の部分についてですが、基本的には子供たちが朝登校して、自分の御家庭でも一旦計っては来るんですが、さらに学校の方でも体温測定をするという

ことで、まず子供たちが自分の健康管理をきちんと意識するという部分、そこに重きを置きたいなと思っております。そういった意味で子供たちが登校したとき、このカメラの前を通過して自分の体温がどうなのか、当然そこには職員もついておりますので、子供自身も自分で、先生たちもそこで体温が高い子供についてチェックができるということになります。当然、体温が高い子供さんについては、そのあと保健室や別室に一旦移って、御家庭に連絡をして迎えに来ていただいて病院の方に連れて行っていただくという形でいきたいと思っております。特に小学校低学年はなかなか自分で健康管理というのが難しい部分もあるかと思っておりますけど、やはりこの経験値を重ねていけば自然にそういう形ができ上がってくるのかなと思っております。以上です。

○天野教育長

はい、古澤委員。

○古澤教育委員

中島課長のことだから、そこはしっかり考えてあるんだろうなというふうには思っております。立派な回答でした。お分かりのとおり、今コロナが北海道でいっぱい出てきているし、東京も大阪もということで、福岡でも減ってきてるかなと思っていればまた増えてきて、地元佐賀もそうです。ですから、これからインフルエンザとか流行してくる中で、そこら辺については保護者の方も結構神経使っているだろうと思っておりますし、熱があるって言ったときに、その子がひょっとしてコロナだったというときに、子供たちが集団でいる中でそれがもとでいろいろ問題が起きないようにという思いからお尋ねをしたところでした。それだけ考えてあれば結構かなと思っております。

○天野教育長

はい、白水部長。

○白水教育部長

ちなみに、今回設置いたしますカメラにつきましては可搬式でございますので、通常は昇降口のところで朝子供たちの体温測定に使用いたしますけれども、例えば今後、何かの催し物が体育館でされるというときには、その入り口に設置して来場者の検知を行ったり、また、夏場ですと今度は熱中症の子供の体温測定にも活用できますので、それぞれにメリットがあるかと思っております。また、基本カメラでございますので、ずっと写しっ放しにしておけば景色が映りますので、防犯対策にもなるといったようなことで、そういう複数の目的で設置を考えているところでございます。以上でございます。

○天野教育長

最後ちょっとまとめてもらいましたけれども、そういった意図のもとにサーマルカメラを設置するということが、非常に高額でございますので各学校しっかり使うということ。部長とも話したのは、やっぱり子供たちがしっかり自分の健康管理をするという時代ですので、親が体温を計りなさいじゃなくて調子が悪いときは自分でサーマルカメラの前に立ってもう一回確認していかうとか、休み時間のときに行って調べてみようとか、そういった子供たちが出てくる必要があるだろうということで、そういったことを考えながら実施していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。他にありますか。それでは議案第 23 号ということで御承認いただくということでよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。

それでは、次に議案第 24 号鳥栖市育英資金奨学生の選考についてを議題とします。この議案につきましては個人に関する情報が含まれておりますので、地方教育行政

の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づきまして、非公開として後ほど審議することを提案いたしますがいかがでしょうか。賛成いただける方は挙手をお願いいたします。はい、ありがとうございます。それでは3分の2以上の賛成をいただきましたので、この議案については後ほど非公開で審議をいたします。

それでは、次に協議報告事項ということでまず(1)コミュニティ・スクールに係る意識調査の結果についてお願いします。はい、古賀参事。

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい。本当に忙しい中アンケートをとって、そして分析してもらったということで、来年度以降についての方向性もここに示しております。何か御質問・御意見等ありましたらお願いいたします。はい、戸田委員。

○戸田教育委員

御説明ありがとうございます。2つございます。今年度始まった鳥栖中校区のアンケートと基里中校区のアンケートを比較してみたいなと思ってたんですけども、質問としては、基里中校区の1回目のアンケートというのは、このコミュニティ・スクールが始まってどれくらい経った時点でのアンケートなのか、要は、今回の鳥栖中校区はスタートから2か月目なので、どれくらい比較できるものなのかっていうのが一つです。

もう一つは、今回のアンケートを踏まえて、先に進んだ基里中校区と今進んでいる鳥栖中校区っていうのは性格が違う、規模も違うところで、その辺が始まる段階から参考にできる部分と、独自に考えなきゃいけない部分があるんだという話があったと思うんですけども、このアンケートを踏まえて改めて鳥栖中校区でしなければいけない課題みたいところへ気付き等あれば、教えていただきたいと思えます。

○天野教育長

はい、古賀参事。

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事

ありがとうございます。まず1点目、基里中学校区のアンケートの時期です。昨年度のアンケートということになりますので、令和元年度につきましては既に1年間取り組んだ後になります。取り組んだ後で、これが2年目の5月か6月、その時期になります。丸1年間取り組んだ後になります。そのため、鳥栖中学校区についてはちょっと別と言いますか、その分け方で示させていただいております。

それから今回、先ほど言いました地域性というところもあるかと思えます。地域性というところにつきましては今後また進めていかなければいけません、やはり人数が少ない規模の小さい学校2つ、それから比較的人数の多い学校での比較っていうところになっております。この2つを一緒に分析するというのは非常に難しい内容でございます、まだ大きいからどうか小さいからどうっていうところまでの分析には至っておりません。今後課題が見えてくるかなと思うんですけども、これまで基里中学校区では他の学校区が取り組んでいることを新たにこの学校区に設置して取り組むというところが中心でございます。それに比べますと、鳥栖中学校区は既にあるものをいかに活かすかというところでの取り組みになってくるかと思えます。ただ、取り組みの性質がまたちょっと変わってくるかなと、そこもしっかり見極めていかなければいけない内容になってくるかと思っております。ちょっとお答えにはならないかと思えますが、以上です。

○天野教育長

はい、戸田委員。

○戸田教育委員

はい、ありがとうございます。ピンク色ののぼりをうちの周りでもたくさん見て、恐らく最初の課題はコミュニティ・スクールっていう名前に気付いてもらうこと、これなんだと思ってもらうことだと思うので、それについて言えば非常に目立つのぼりなので、このあと認知向上につながるのかなというふうに思っております。

○天野教育長

はい。ということで、いいですかね。他に。はい、古澤委員。

○古澤教育委員

関連でお尋ねします。鳥栖中校区で始められるという御報告を定例会でいただいたときに、皆さん等しく感じられておられたらと思うのは、基本的に大規模校に該当するわけですから、小学校が複数あるということでやりづらさ、難しさはあるだろうなというふうに感じておりました。ただ、そういう中でも小学校を卒業したら同じ中学校に行くんだ、あそこに行くよということで、小学校が別々であっても小学校のうちから保護者の方が事前のいろんな打ち合わせとか勉強会とかで顔を合わせることで親しみを持ってもらえると、子供さんにもそういう話をされるといい効果が期待できるんじゃないかなというふうな気持ちも私は思っておりました。そういった部分が具体的にそこまで先生方に届いてはいないかもしれないけれども、そういったこともあるんじゃないかなというふうに思っております。鳥栖が成功してもらわないと困るわけですから、やりづらい点はあるでしょうけれども精一杯やれる範囲で頑張っていたらなということで、回答はいりません。期待しております。

○天野教育長

はい、ありがとうございます。ということで、導入に向けた今後の予定は担当の方と随分考えて何回も協議をしました。来年からすぐ残り2つをするのか、分けてやるのかとかいろんなやり方があったんですけど、コロナ禍の中もありましてしっかり検証部分もあって、あと2つとも大規模なものですから大規模校で2年間やった実績を踏まえて慌てずにいいんじゃないかということで、令和4年度に田代中と鳥栖西中を一気にやるということで考えています。そういうことですけど、私もいろいろ見てきて、基里小と基里中は3年目に入りまして一つずつ丁寧にやっていて、最初は中学校はなかなか難しいという意見が多かったんですが、そういった中でも今基里中はいろいろ地域の方に応援してもらって、除草作業なんかもコミュニティでもらっていて、そういう意識のもとにやっていたらいいということ、非常によくなったなと思っております。鳥栖中あたりの校長先生と話すと、小学校校区が2つに分かれてるとこもあってなかなか難しくてという声もあって、その辺はしっかり今後考えていくということですけど、やってることは非常にいい方向だからという意識は職員もあります。ただ一つだけ、働き方改革に向けて学校の応援団だよということでやってもらってるんですけど、なかなかその辺が職員に浸透していない部分もあって、逆にまた仕事を増やされても困るっていう思いもあるのかもしれないですけど、基本的には学校は地域と共にある学校でなくてはいけないという鳥栖市の目標というのがありますから、それについてはしっかりやっていきたいと思っておりますし、各学校でも自分たちが地域に何ができるかなという意識をしっかりと高めていく必要があるんだろうというふうに思っておりますので、今後ともまたよろしくお願ひしたいと思ひます。他にいいでしょうか。はい、それでは次にいきます。

(2) 鳥栖市青少年育成市民会議研究大会についてお願いします。はい、八尋係長。

○八尋生涯学習課長補佐兼生涯学習推進係長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございました。委員の皆さん何かいいでしょうか。私も作文発表を聞かせていただいて、本当にこういった中なんですけど子供たちは一生懸命やってるんだなということで本当に感動しましたし、教育委員会としても頑張っていないとという強い思いを持ったところでした。それでは次に行きます。

今後の予定についてお願いします。青木次長。

○青木次長兼教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございます。今後の予定について何か御質問等ありましたら、いいでしょうか。はい、それでは以上で公開による会議を終了いたします。

次に議案第 24 号鳥栖市育英資金奨学生の選考について非公開で審議いたします。鳥栖市教育委員会会議傍聴人取締規則第 6 条の規定により、傍聴者は退席をお願いします。関係しない事務局職員も退席をしてください。よろしくをお願いします。

(傍聴人及び関係しない事務局職員は退席)

(非公開の審議)

以下の議事については非公開

議案第 24 号 鳥栖市育英資金奨学生の選考について

(非公開の議事終了)

それでは、これもちまして 11 月の定例会を全て終わります。皆様ありがとうございました。